

漢字をおぼえよう……

漢字

●新しい漢字——漢字の練習をしましょう。

捨	射	異	認	並	腹	視	シ
捨捨捨捨捨	射射射射射	異異異異異	認認認認認	並並並並並	腹腹腹腹腹	視視視視視	例視野
捨	射	異	認	並	腹	視	
⑪手	⑩寸	⑪田	⑭言	⑧一	⑬肉	⑪見	
舌	背	純	洗	降	段	砂	すな
舌舌舌舌舌	背背背背背	純純純純純	洗洗洗洗洗	降降降降降	段段段段段	砂砂砂砂砂	例砂遊び
舌	背	純	洗	降	段	砂	
⑥舌	⑨肉	⑩糸	⑨水	⑩尸	⑨爰	⑨石	

学習のポイント

- ・登場人物の視点のちがいに注意して読む。
- ・表現に着目して、心情や人物像をとらえる。

乱	ラン
乱乱乱乱乱	みだ・れる みだ・す
乱	例混乱
	⑦乙

漢字の練習

次の線の漢字の読みがなを書きましょう。

① 視点のちがい

② 砂ぼこり

③ 腹をすかせる

④ 階段を上る

⑤ かたを並べる

⑥ 雨が降る

⑦ 負けを認める

⑧ 単純すぎる

⑨ 西日の反射

⑩ 背中をおされる

⑪ ごみを捨てる

⑫ 舌を出す

学習日

月
日

文章の流れをつかもう

「帰り道」の内容を、文章の流れにそって次のようにまとめました。

①～⑥にあてはまる言葉を、あとから選んで書きましよう。

1 「ぼく」 2 「ぼく」 3 周也

今日は、周也と二人きりの
帰り道が、果てしなく
① 感じられる。

野球の ② を休んで
律を待ちぶせし、いつしよに
帰りがけたが、気まずい。

昼休み、「どっちが好き。」と
いう話についていけず、
「どっちもかな。」と言うと、
周也がにらんだ。

母の小言が頭をかすめる。
③ とは、相手の
言葉を受け止めてきちんと
投げ返すこと。あなたは一
人で球を放っているだけ。

周也の言葉が、みぞおちの辺
りにささり続け、ふり落とせ
ない。きよりが開く。

ちんもくが ④ で、
言葉を乱打してしまう。

⑤ が通り過ぎる。二人はあわてたが、笑い合った。

⑥ 勇気を出して言った。「ほんと
に、好きなんだ。」

心で賛成したが口が動かず、
だまってうなずいた。

二人は並んで再び歩く。

苦手 両方 会話 遠く 練習 天気雨

言葉の意味を 確にんしよう

次の言葉の意味を書きましよう。

★		①		②		③		④		⑤		⑥		⑦									
意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉								
テンポ	例	一定のテンポで歩く。	みぞおち	例	みぞおちの辺りが痛む。	境地	例	まよいのない境地に達する。	おおぐ	例	あてが外れて、思わず天をあおぐ。	軽快	例	軽快なリズムで自転車をこぐ。	おっとり	例	祖母はおっとりとした性格だ。	逆襲	例	弱いと思っていた相手から逆襲を受ける。	爆発的	例	インフルエンザの患者が爆発的に増える。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権の都合で掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

まずやってみよう

この文章から「律」という言葉をさがし、すべて で囲みましょう。

人物像をつかむ

その人物を表す言葉が出てくるところすべてに着目する。

文章中の表現から、外見や性格、考え方をとらえる。

注目！

← どのような人物としてえがかれているかを総合的につかむ。

□(1)

線①「母親の小言」の中から、「周也」の性格を表した言葉を書きぬいて答えましょう。

/ 15

□(2)

線②「足は律からにげるようにスピードを増していく」とありますが、周也が足を速めたのはなぜですか。次から一つ選び、記号で答えましょう。

/ 15

- ア 律が言ってほしい言葉を考えることに夢中になったから。
イ いくら話しかけても律が返事をしないので、白けたから。
ウ 律が返してくれるようないい言葉が出ず、あわてたから。
エ きげんを直そうとしない律が腹だたしくなってきたから。

著作権の都合で掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

□(3) 線③「ピンポン球を乱打せずにいらなかった」とありますが、これについて次の問いに答えましょう。

1 「ピンポン球を乱打」するとはどうすることですか。次から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 相手とテンポを合わせ休みなく言葉のやり取りをすること。
イ 自分だけが一方的に相手にどんどん言葉を投げかけること。
ウ 相手にいやなことを言われたら負けずすぐに言い返すこと。
エ 自分が聞き手になって、相手の言葉を受け止め続けること。

15

2 周也が「ピンポン球を乱打」するのはなぜですか。次の□にあてはまる言葉を、文章中から七字で書きぬいて答えましょう。

15

だれかというときの

だから。

□(4) この文章中の周也には、「律」がどんな少年に見えていますか。

次から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 細やかに他人を気づかうことができる少年。
イ 他人をよせつけたがらない、無愛想な少年。
ウ いつもマイペースで、落ち着いている少年。
エ 気が弱く、無口で、おどおどしている少年。

20

□(5) 線④「ことさらに大声を張り上げた」ときの周也の気持ちを、文章中の言葉を使って書きましょう。

20

漢字を書こう

● 新しい漢字 次の読みがなを漢字で書きましょう。

- ① し てん を変えて見る
- ② 海岸の すな
- ③ はら を立てる
- ④ 駅の かい だん
- ⑤ いすを なら べる
- ⑥ 雪が ふ る
- ⑦ 実力を みと める
- ⑧ よごれを あら い流す
- ⑨ い ぶつ を取り除く のぞ
- ⑩ たん じゅん な構造
- ⑪ 光が はん しゃ する
- ⑫ せ なか を向ける
- ⑬ 迷いを す てる
- ⑭ した がよく回る
- ⑮ たいこを らん だ する

言葉を使いこなそう

① 漢字二字の言葉になるように、次の にあてはまる漢字を、下から一つずつ選んで書きましょう。

- ① 自然
- ② 登下

- ③ 放 後
- ④ 一 車

課 輪
校 不

② 次の に共通してあてはまる漢字を、下から一つずつ選んで書きましょう。

- ① 最 夏 ② 言 数 ③ 会 題

無 話
初

③ 次の にあてはまる言葉を、あとから一つずつ選んで書きましょう。(同じ言葉は二度使えません。)

- ① 思ってもいない質問をされて、

の返答になった。

- ② 耳元でブーンと虫の羽音がしたので、

に、手ではらいのけた。

- ③ 姉がひくピアノに

聞き入った。

とっさ しどろもどろ しばし

文を書いてみよう

信じがたいものを見たのは、そのときだった。

(ワークIIページ24～25行目)

1 言葉のあとに付けて意味や様子をおぎなう言葉があります。次の線の意味をから一つずつ選び、記号で答えましょう。

① すがたい 例 信じがたい

② しまくる 例 暴れまくる

③ くらげ 例 まぶしげ

ア し始める
イ けらしい様子だ
ウ するのが難しい
エ くに失敗する
オ さかんにくする

2 次の□に合う言葉を、1の①～③から選んで書きましょう。

(1) 知っている歌を二人で歌い□。

(2) 受け入れ□。要求なので断る。

(3) 弟は、母にほめられてうれし□。顔ををした。

3 例 にならって、1の①～③の表現のどれかを使って短文を書いてみましょう。

例 ぼくは、日曜日になると、思う存分本を読みまくる。

ふり返ろう

★「帰り道」の「律」と「周也」の様子や心情を、場面ごとに、次のようにまとめました。①～⑦にあてはまる言葉を、あとから選んで書きましょう。

《律》

① 自分が返事をしないので、周也が□いるのだろうと思っている。

歩道橋。二人とも無言。

だまりこくっている律にいい球を投げたが、□②が止まった。

《周也》

③ 周也はテンポよく進む。追いつけない。□の境地で天をあおぐ。

公園。きよりが開く。上を見る律。

④ 律はマイペース。今日もおっとり。木もれ日をふりあおぐしぐさにも□がある。

⑤ 空一面からシャワーの□が降ってきた。

天気雨。

無数の白い球。球の逆襲。

分かってもらえた気がした。

⑥ 律「両方好き。」□周也。

⑦ 初めて、律の言葉をちゃんと□。

受け止められた よゆう
白くて あきらめ 舌 水 うなづく

同じ場面の中で、人物が思っていることのちがいに注目する。
↓ものの見方のちがいや、人物像のちがいがとらえやすくなる。